

# 総括質問

## 清風クラブ

佐藤 貴子 議員

### 職員の法令の遵守等に関する条例

**問** この条例に「市民等の協力」という題目が明記されているが、条例の理念を市民と共有するためにどのような周知をするのか。

**総務部長** 具体的な取り組みについては、折に触れて広報紙やホームページなど、さまざまな手法で周知する。特に「市民との協力」については、何かを強制したり、縛ったりするものではないことを周知し、職員の法令遵守の推進に目を向けていながら、市民との協働による行政運営に取り組んでいきたい。

### ツインシティ大神地区土地区画整理事業

**問** この事業によって平塚市はどのように変わるのか。

**市長** 現在の一極集中している都市構造が二極化し、発展的で安定的な都市構造となり、生活利便性の向上、産業経済の活性化を図ることができると期待している。

**問** なぜ今、整備が必要があるのか。

**市長** 今回の市街化区域への編入を逃すと、人口減少

9月定例会では、上程された議案や、ツインシティ計画、防災・減災対策、子育て支援策などに対して18人の議員が総括質問を行いました。

◆質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。

市として支援をすることから、リスクは大幅に軽減されている。

### 市民病院の財政基盤

**問** 一般会計から毎年約10億円を「病院事業会計負担金」として支出している。市民病院の新棟建設費用が工期の延長により増額とな

### 坂間 正昭 議員

### 平塚市総合計画 地域力・市民力の取り組み

**問** 地域活性化に向け、地域や市民への支援体制、人材活用をどのように進めていくのか。

**副市長** 地域の特性を考慮し、行政の押し付けにならないよう、地域の意見を取り入れながら、地域や市民を支援していく。

### 環境政策について

**問** 本年度のごみ処理広域化の取り組み状況を伺う。

**副市長** 厨芥類資源化施設の整備中止やリサイクルセンターの整備主体の変更により、平塚・大磯・二宮の「1市2町ごみ処理広域化実施計画」を見直している。

**問** 遠藤原一般廃棄物最終処分場の整備を受け入れた際の住民との合意条件があるが、これらの条件整備は

規定されている。新棟の建設については、今後も法の趣旨に基づき、病院運営にかかる経費10億円と病院整備事業で借り入れる企業債元利償還金の2分の1は継続して市が負担することを考えており、現在のところ縮小計画はない。ただし、病院事業は公営企業であり、市が負担すべきと規定されているもの以外は、独立採算制の原則にのっとり病院経営を進めていく。



## 決算特別委員会を設置

9月定例会では、平成25年度の一般会計・特別会計決算および病院事業決算の認定を求める議案が市長から提出されました。これを受けて、市議会では「決算特別委員会」を設置し、10月1～3日の日程で、予算の執行状況や事業の実施状況などに対する審査を実施。採決では、全員異議なく、いずれの議案も認定すべきものと決定しました。

審査結果は、12月定例会で報告し、本会議で認定の可否を審議します。

※決算の概要や審査の詳細は次号のひらつか議会だよりでお伝えします。

### ―決算特別委員会―

委員長	片倉 章博
副委員長	出村 光
委員	数田 俊樹
〃	渡辺 敏光
〃	鈴木 晴男
〃	出縄 喜文
〃	府川 正明



片倉委員長

進んでいるのか。

**副市長** 近隣市町との調整を要するものもあり、現状を踏まえて地元自治会と協議を重ねていく。

### まちづくりセンターの取り組み

**問** まちづくりセンター開設に向けて、機能や役割の整理に関する現状を伺う。

**市民部長** 協働推進課、福祉総務課、中央公民館の3課が連携し、年内に地域に説明できるよう進めている。

### 事業評価について

**問** 来年度は、本市独自の事業評価をするのか。

**企画政策部長** 今年の事業評価を踏まえ、委員の意見を次の評価へつなげたい。

**まちづくり政策の取り組み**

**問** 市街化調整区域内の地区を存続させるまちづくりについて伺う。

**まちづくり政策部長** 「市

街化調整区域の土地利用方針」に基づき、地区計画制度の活用などを視野に入れ、神奈川県との協議や地域の機運の高まりを鑑みながら取り組んでいきたい。

**子ども・子育て支援制度**

**問** この新制度の内容は分

### 須藤 量久 議員

### 教育行政

**問** 平成26年度全国学力・学習状況調査における本市の結果と分析について伺う。

**教育指導担当部長** 小学校全教科の平均正答率は、全国が66.2%、本市が62.1%で全国比マイナス4.1ポイント。中学校は、全国が64.4%、本市が63.2%で全国比マイナス1.2ポイントである。全国平均と比較すると同程度で、5ポイント以内の差である。

**問** 昨年度の結果を受け

かりにくいので、保護者に対して制度の周知や説明をしっかりと行うべきではないか。

**健康・子ども部長** これまで幼稚園協会や民間保育園連盟の役員会などで説明をしてきた。また、新制度や子育て情報を特集した「広報ひらつか」を発行し、市民への周知を図る。

て、分かる授業や魅力ある授業づくりを大切にしたことだが、具体的にどのような取り組みをしたのか。

**教育指導担当部長** 教員の授業力向上を目的にした計画訪問や要請訪問での授業研究、授業づくり推進員による公開授業のほか、研修を目的にした学校研究推進担当者研修会、研究教室を実施した。

**問** 基本的な生活習慣や学習習慣の確立が学力の定着に重要であるとのことだが、具体的にはどのような取り組みを行ったのか。

### 農福連携施策

**問** 農業と福祉の連携について伺う。

**産業振興部長** 産業活性化推進会議で産業振興部と福祉部がプロジェクトチームを設置し、農業の新たな働き手の確保と障がい者の自立や就労支援をつなぐ事業の調査検討を進めている。

**教育指導担当部長** 家庭学習の習慣化は小中学校に共通する課題の一つであるため、各学校の実態に合わせて家庭学習への取り組みを児童生徒に指導するよう働きかけた。また、今年度は児童の学習意欲の向上や基礎的、基本的な学習内容の定着を図るために「自主学習教室」を開催した。

**オリエンピック・パラリンピックへ向けて**

**問** 東京でのオリエンピック・パラリンピックの開催は、平塚をアピールする千載一遇のチャンスである。

### 自転車を活用したスポーツの推進

**問** 本市は自転車を活用したスポーツの基礎的条件に恵まれているので、サイクルイベントとして「ツールド・HIRATSUKA」の開催について検討したらどうか。

**社会教育部長** 全市を挙げたサイクリングイベントの開催は、開催目的や交通規制、推進体制など、幅広い観点から中期的な構想の検討が必要と思われる。提案として受け止めたい。

事前キャンプ地の誘致だけでなく、さまざまな分野で本市をアピールすべきではないか。

**市長** 事前キャンプの誘致も含めて、平塚の魅力発信することは必要だと思える。オリエンピックを盛り上げながら、平塚の魅力発信し、平塚の活性化を図っていくという考えをしっかりと持ちたいと思っている。